

2020 年度

河川維持管理技術者資格試験 論述試験

必須問題

〔注意事項〕

1. 解答用紙にある「試験地」、「受験番号（3枚）」、「あなたが登録した実務経験のうち代表的な河川と管理する機関」をご記入ください。
2. 解答は、必ず解答用紙の指定された箇所に、指定する字数（1200字）内で作成してください。また、解答用紙の欄外の余白には、何も書いてはいけません。
3. 解答用紙への記述は、手書き（HBまたはBを使用）またはWord に直接入力でもかまいませんが、提出はA4判の用紙（片面印刷）に限ります。指定の解答用紙以外で提出した場合は、採点いたしません。（解答用紙は左上をホッチキスで留めてください）
4. 説明にどうしても図表の記載が必要な場合は、必要最小限の範囲で可能とします。また、色鉛筆等の使用は可能ですが、採点はモノクロ印刷で行います。
5. 試験問題の内容についての質問にはお答えいたしませんので、ご了承ください。
6. 解答を記述し、試験当日試験会場へ持参し机の上に置いてください。係のものが本人確認の上回収いたします。提出がない場合はその時点で不合格となり、以降の受験ができません。

必須問題

資格試験申込み時に登録した河川（実務経験のうち代表的な河川）において、維持管理の観点で取り組んだ実務経験（維持管理に係わる計画の立案、河川の状態把握とその分析・評価・対応案、施設の維持・補修方法の立案及びその対策の実施等）の事例の中から、一事例（※）について、以下の問いに 1200 字以内で答えなさい。

※ 事例として求める維持管理の内容は、治水、利水、環境の観点から行う河道や河川管理施設の維持管理の他、河川の適正な利用や不法行為対応等の河川区域の維持管理を含むものとする。ただし技術的な検討を行い対応した事例を対象とする。例えば法律的な観点のみで対応した事例などは対象から除く。

（１）背景・課題

実務経験のうち代表的な河川を明記した上で、あなたが担当した維持管理上の課題について、当該河川の特徴や課題が顕在化した背景も含め記述しなさい。

（２）役割・実施内容

上記の課題に対して講じた取組や実施内容について、技術的な観点から具体的に記述しなさい。またあわせてあなたが果たした役割についても記述しなさい。

（３）経験の活用

事例より得られた教訓等から、当該河川や他河川の維持管理に参考となる内容や、あなたのその後の業務遂行に活用されている内容について記述しなさい。